

研究紀要

令和3年度～令和5年度

「ICT活用」に向けた実践報告

大阪府立西浦支援学校

—目次—

・はじめに

・第1章 令和3年度 『授業における ICT 機器の効果的活用を探る』

第1節 研究動機およびスケジュール

第2節 研究報告

第3節 まとめ

・第2章 令和4年度 『場面を絞った ICT の効果的活用の探求』

第1節 研究動機およびスケジュール

第2節 研究報告

第3節 まとめ

・第3章 令和5年度 『児童生徒の ICT 活用の実践』

第1節 研究動機およびスケジュール

第2節 研究報告

第3節 まとめ

・3年間の総括

・おわりに

はじめに

研究テーマ「ICT の活用」の設定理由とこれまでの経緯について

令和 2 年 3 月の新型コロナウイルスの全国的な感染拡大は学校現場に大きな変化をもたらしました。その最たるものが学校現場における ICT 機器活用の在り方の変化でした。その背景には、GIGA スクール構想による児童生徒への一人一台端末の配布が急速に進んだこともあります。

知的障がい特別支援学校においては、これまでも児童生徒の学習や生活を支援するものとして ICT 機器等が活用されてきました。しかし、一人一台端末時代の到来によって、これまで以上に児童生徒一人ひとりの実態に応じた ICT 機器活用の重要度が高まったといえます。これに伴い、教員には児童生徒が ICT 機器を適切に活用できるよう指導するための教員の知識とスキルがこれまで以上に求められることになったといえます。

そこで、本校では令和 3 年度から 3 年計画で「ICT の活用」をテーマに研究を行うこととしました。

3年間の取り組みについて

3年間の研究目的として、それぞれの年度のテーマを次のように定めました。

令和3年度「授業における ICT 機器の効果的活用を探る」

令和4年度「場面を絞った ICT の効果的活用の探求」

令和5年度「児童生徒の ICT 活用の実践」

研究に取り組む中で、児童生徒一人につき一台のタブレット型端末が整備され、ICT 機器が分かりやすい授業づくりのための1つのツールとなり、さらに ICT 機器の活用方法について検討する必要が出てきました。

このテーマを受け、この 3 年の間に GIGA スクールチームの立ち上げによって ICT 機器の環境整備を行うとともに、児童生徒が ICT 機器を使用する授業や機会を増やすなど、分かりやすい授業づくりのために教員の ICT 活用技術のスキルアップをめざして研究を進めてきました。今年度で一旦このテーマでの研究を終え、その成果を研究紀要にまとめることで、「ICT の効果的活用」についての本校の活用状況と課題を明らかにし、より魅力的な「ICT の効果的活用」の方法を検討します。